

「自主、自立、自信」子供の「できた!」を見守る伴走者



いずかし

R8. 5月21日 7号
文責：園田

見守りあつがふいこうです

SSPの方々へ感謝の集会



5月12日(火)の昼休み後、SSP集会を行いました。植柳小学校区では、SSP(スクール・セーフティ・パトロール総勢35名)の方々に子どもたちの登下校を見守っていただいています。本校区の道路は道幅が狭く見通しが悪い道路が多くあります。特に交差点や横断歩道を渡る際はとても心配ですが、SSPの皆さんや交通指導員さんに子供たちを見守っていただいているおかげで、安心して登下校することができています。本当にありがたいことです。集会では、SSP代表の方が、「あいさつを気持ちよくしてくれらることでうれしい気持ちになります。これから元気なあいさつをお願いします。」と話されました。

横断歩道は歩行者優先ですが、しっかり手を挙げて横断の意思を示し、左右を確認して渡ってほしいと思います。

朝は特に交通量が多く、スピードを出す車もあり、とても心配しています。

集会の最後には、運営委員の代表児童がSSPの方々への感謝の気持ちを伝えました。毎日の感謝の気持ちを伝えるためにも元氣よく「おはようございます」「さようなら」「ありがとうございませす」の言葉をしっかりと伝



静かに座って話を聴く子供たち

三校区合同研修



県教委の説明を聞く三校区の教職員

5月13日(木)の午後から、第三中学校で「小中一貫・連携教育の三校区合同研修会」が行われました。

この研修会は、小中学校教職員の持つ専門性やきめ細かな指導など、互いのよさを生かした指導を通して、「9年間の学びと育ちの連続性」を図る事を目指して、教職員が連携し、中学校進学に対する不安の解消や進学への期待等につなげる取組です。第一回目となる今回は、県の義務教育課から「読み解く力」のモデル事業の説明があり、その後、学力向上部会や生徒指導部会、心の教育部会など6つの部会に分かれて今年度の方向性を確認しました。

青葉を渡る風も爽やかに感じられるころとなりました。日頃より、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。さて、五月も下旬に入り、お陰様で教育活動も順調に軌道に乗って進められています。さて、先日のPTA総会で、「子供たちのスマホ等の使用に対する管理と監督」について少しお話しをさせて頂きました。

今回の記事は、時間という限られた資源を有効に使うため、子供たちが費やしているゲームやスマホ等の利用時間の現状を知っていただき、家庭で考えていただきたきかけになればと思います。現代の子どもたちにとつてスマートフォンやゲームは非常に身近なものとなりました。しかし、その「使い方」について、ご家庭で改めて考えていただきた数字があります。

昨年7月に行いましたスクリンタイム調査では、休日に3時間以上使っている児童は4年生までは全体の約三割、5・6年生では四割以上が使っており、ほぼ一日中使っている児童もいるという結果でした。もし、一日平均4時間、スマホやゲームをすると考えると、六年間では八千七百時間以上を自由に費やすことになると思います。自由に使える貴重なこの時間が、画面の中で過ぎてしまいう計算になるのです。もちろん、ICT機器は学びやコミュニケーションの道具と

8.760時間が消える!?

して有用です。しかし、小学生という時期は、読書に没頭したり、外を駆け回ったり、家族と何気ない会話を交わしたりといった「実体験」が、心と体の土台を作る大切な時期でもあります。特に、様々な体験を通して身に付ける「非認知能力」を育てるだけでなく、「自立心」や思いやり、共感性、信頼といった他社と協働する力や自尊心を高めることに繋がります。

ゲームやスマホを「絶対に使ってはいけない」ということではなく、その時間が「本来得られるはずだった他の経験」を奪っていないか、今一度見つめ直す必要があります。新学期がスタートして一ヶ月になりましたが、時々、宿題ができていない(やらなかつた)とか、夜遅くまでゲームやスマホを見ていて朝起きることができず遅刻をしたという話を時々聞きます。子供さんの明るい未来のために、自分自身で時間をコントロールする力(タイムマネジメント力)を家庭で育ててほしいと思います。例えば、「平日は1時間以内、休日は2時間以内にする」「寝る前は使用せず、事前に預けて寝室に入る」といった具体的なルールをつくると、もう一度お子様と一緒に話合ってみてください。子どもたちが六年間という限られた時間を、より豊か多様な体験に充てられるよう、学校と家庭で手を取り合っ

